

特別展

特別展示室+常設展示室1.4・5 【関連企画】常設展示室2 【特別公開】常設展示室3

皇居三の丸尚蔵館名品選 美が結ぶ 皇室と香川

4/20(土) ▶5/26(日)
◎一般:1,400円 前売・団体:1,100円



国宝 伊藤若冲「動植綵絵」のうち「向日英雄鶏図」 皇居三の丸尚蔵館収蔵



松岡映丘「大三島」 皇居三の丸尚蔵館収蔵

皇居三の丸尚蔵館が収蔵する皇室ゆかりの美術品より、中世から近世、近代の工芸や彫刻―特に香川県をはじめとする四国にゆかりのある作品を中心に紹介します。また皇室の美術品と関わりが深い香川の文化財も交え、第1章 皇室が紡ぐ日本の美 第2章 金刀比羅宮ゆかりの絵師たち 第3章 皇室を彩る四国ゆかりの美 第4章 皇室のご慶事 ―主基国・讃岐、大正大礼を中心にの4章構成で64件の展示作品により皇室と香川を結ぶ美の世界をご覧ください。さらに常設展示室で関連展示と特別公開を行い、全館を通してお楽しみいただけます。

特別展示室+常設展示室4・5

美術を探求 ギモンにせまる

9/14(土) ▶11/10(日)
◎一般:500円 前売・団体:400円

見て楽しむ、だけではない美術作品の魅力。作品に表現されたものやそのイメージ、素材、時代感など様々な疑問を出発点に作品をひもといていくと、作品鑑賞の視点がより広がっていきます。本展は、当館のコレクションを中心とした絵画や彫刻、工芸といった近現代の作品とともに、鑑賞のヒントとなる古文書や写真、生活資料などを展示します。それぞれの作品について、「ギモン」を切り口に探求していきます。



吉田博「牛」 高松松平家歴史資料



池田勇八「ユーザービー」

特別展示室+常設展示室4・5ほか

第71回 日本伝統工芸展

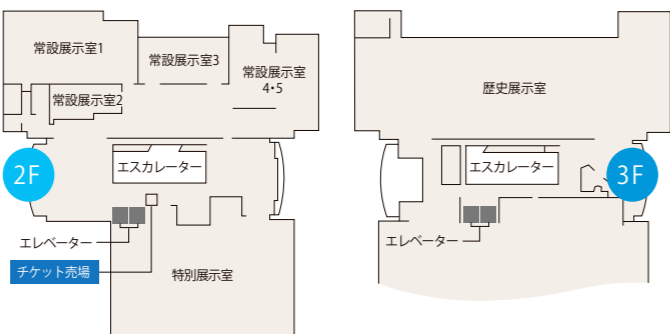
2025. 1/2(木) ▶1/19(日)
◎一般:700円 前売・団体:560円
□会期中無休

先人の有する優れた工芸技術を受け継ぎながら、今日に即した新たなものを生み出す。伝統工芸の粋が集う展覧会。陶芸・染織・漆芸・金工・木竹工・人形・諸工芸の7部門の、重要無形文化財保持者(人間国宝)の作品、受賞作品、四国在住作家の入選作品などを展示します。



第70回日本伝統工芸展会場風景

フロアガイド



特別展示室+常設展示室4・5ほか

第88回 香川県美術展覧会(県展)

1期(絵画・立体) : 7/9(火) ▶7/15(月・祝)
2期(工芸・写真) : 7/19(金) ▶7/25(木)
3期(書) : 7/29(月) ▶8/4(日)

◎一般:750円 前売・団体:600円
□会期中無休



第87回香川県美術展覧会会場風景

香川県美術展覧会は公募による美術展覧会です。現代の美術シーンは多様な表現にあふれています。第88回展では、絵画・立体・工芸・書・写真の5部門で作品を募集します。また、会期中に若手作家支援プロジェクトも開催します。ジャンルにとらわれない、新たなチャレンジをお待ちしています。

常設展

常設展示室1

高松松平家歴史資料コーナー ★

※4/20~5/26は特別展「皇居三の丸尚蔵館名品選」の会場になります。高松12万石を治めた大名高松松平家に伝来する歴史資料を紹介します。大名・華族の暮らしや文化を物語るさまざまな道具類をお楽しみください。



高松藩御座船飛籠丸船明細切絵図 惣図 (公財)松平公益会蔵

学ぶ高松藩 ―講道館と考信閣―

6/1(土) ▶7/15(月・祝)
江戸時代、藩にとって「学ぶ」ことは政治と並んで重要なことでした。高松藩の藩校・講道館、歴史編さんに取り組んだ考信閣をはじめとして、高松藩における学問への取り組みについて紹介します。



考信閣新成因詠歌 高松松平家歴史資料

夏休み子どもミュージアム すごろくと子どもたち

7/19(金) ▶9/1(日)
すごろく(絵双六)は、サイコロを振って、ゴール目指して競い合うボードゲームです。江戸時代から人びとに親しまれ、大正時代からは子ども向け雑誌の正月号の付録として人気を博しました。明治時代~昭和時代のすごろくを中心に、昔の子どもたちの世界をのぞいてみましょう。



少女学校家庭双六(部分)

近代能楽がつむぐ縁 ―松平頼寿と中野武営

9/10(火) ▶10/27(日)
武家の式学(儀式用の芸能)とされた能楽。近代に入っても各界の名士たちは様々な能楽に関与しました。高松松平家12代頼寿は、後見人であった中野武営の影響を受け、宝生流の能楽や謡を嗜むようになりました。本展では、金沢能楽美術館の協力のもと、中野家と松平家に伝わる能道具を紹介します。



中村直彦「増女」 高松松平家歴史資料

源平合戦を描く

11/1(金) ▶12/22(日)
源氏と平氏の戦いは『平家物語』などの軍記物で語られ、古来より多くの絵画に描かれてきました。収蔵品から、軍記物に記されたエピソードを華々しく描いた屏風や、迫力満点の錦絵などを紹介します。



赤間ノ浦源平合戦之図

日本伝統工芸展連携企画 香川の人間国宝

2025. 1/2(木) ▶1/19(日)
香川県はこれまで多くの重要無形文化財保持者(人間国宝)を生み出してきました。本展は、第71回日本伝統工芸展の連携企画として、彫漆の音丸耕堂、蒔藍の磯井如真・正美ら漆芸家をはじめ、型絵染の鎌倉芳太郎など、香川ゆかりの人間国宝の作品を紹介します。卓越した技と美の世界をご覧くださいだけの展覧会です。



磯井正美「蒔藍存清林間飛翔箱」 高橋章撮影

お雛様と道具たち

2025. 2/4(火) ▶
3月3日の桃の節句には、華やかな人形と一緒に、豪華な道具類のミニチュアが並びます。雛道具は婚礼調度を模したものです。高松松平家に伝来した雛人形・雛道具とともに、実際の硯箱や化粧道具などを紹介します。



高松松平家伝来雛道具

常設展示室2

特別展関連企画 皇室と高松松平家 ―大正時代の行啓

4/16(火) ▶5/26(日)
大正6年(1917)に旧高松城内に建設された高松松平家の別邸披雲閣(重要文化財)は、香川を訪れた皇族など多くの賓客をもてなす場所として使用されました。本展では大正11年に摂政宮(後の昭和天皇)が滞在した際の資料を中心に、皇室と松平家、香川県との関わりを紹介します。



披雲閣大書院 (「摂政宮殿下御来県記念帖」より) (公財)松平公益会保管

アート・コレクション 生誕120年記念 イサム・ノグチ

世界的に活躍した彫刻家イサム・ノグチ(1904~88)は晩年、香川県牟礼町(現:高松市)にアトリエを構えました。本年の生誕120年を機に、テーマに沿って5期で年間通じて紹介します。
I: 5/28(火) ▶7/15(月・祝)
「ORIGAMI」折り紙のように平面から立体に変身した作品を紹介します。
II: 7/19(金) ▶9/1(日) 夏休み子どもミュージアム
「おりがみ」軽やかに人や動物を表現した作品を、子どもたちに分かりやすく紹介します。
III: 9/10(火) ▶12/1(日)
「AKARI」和紙と竹ひごによって形づくられる光の彫刻を紹介します。
IV: 12/3(火) ▶2025. 3/2(日)
「庭」5つのブロンズのかたまりで構成された彫刻が生み出す空間の面白さを紹介します。
V: 2025. 3/11(火) ▶
「ひとがた」具象から抽象まで様々な人の姿を紹介します。



イサム・ノグチ「リス」 ©2024 The Isamu Noguchi Foundation and Garden Museum/ARS, New York /JASPAR, Tokyo X10205

常設展示室3

弘法大師空海の生涯と事績 ★

京都東寺の灌頂院をモデルにしつらえた展示室。空海の生涯を中世に描かれた絵巻の流れにそって紹介し、館蔵資料とともに国宝、重要文化財などの貴重な資料を忠実に写した複製資料で空海的事績をたどります。
[特別公開]重要文化財「光厳天皇宸翰奉納心経」(4/16~5/26)

★印は定期的に展示替えを行います。

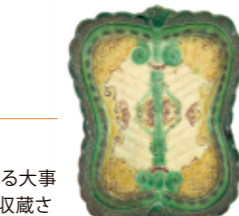


両界曼荼羅と五大尊 展示風景

常設展示室4・5

新収藏品展

8/8(木) ▶9/1(日)
さまざまな作品・資料の収集は、ミュージアムを支える大事な業務のひとつです。令和3年度から5年度にかけて収蔵された作品・資料を紹介します。



源内焼三彩軍配形脚付鉢

アート・コレクション 金工にみる花鳥風月

11/19(火) ▶12/22(日)
館蔵品から金工作品を紹介します。金属工芸界に大きな影響を与えた北原千鹿(1887~1951)、草花や蝶を繊細に表現した鴨政雄(1906~2000)、金工の可能性を追求し続ける大須賀選(1931~)など、香川県出身の金工家たちが表現する華麗でモダンな作品の魅力をご堪能ください。



北原千鹿「金彩遊禽水指」

アート・コレクション 小林萬吾 一師に学び、歩んだ道

2025. 2/4(火) ▶
香川県出身の画家、小林萬吾(1868~1947)は、日本洋画の父・黒田清輝(1866~1924)の画塾・天真道場や白馬会で学び、後に中央画壇で活躍しました。本展示は、館蔵品とともに県内所蔵者の作品を集め、黒田の志に承えて歩んだ小林萬吾の画業を振り返ります。



小林萬吾「林泉」

歴史展示室

かがわ今昔 ―香川の歴史と文化― ★

原始時代から現代まで約2万年の香川の歴史について、時代順にコーナーを展開し、わかりやすく紹介。大型の展示物や映像で、それぞれの時代の雰囲気も実感しやすくなっています。



戦後の住宅

Museum Yearly Calendar 休館日

Calendar for April 2024 and October 2024.

Calendar for May 2024 and November 2024.

Calendar for June 2024 and December 2024.

Calendar for July 2024 and January 2025.

Calendar for August 2024 and February 2025.

Calendar for September 2024 and March 2025.

\*ミュージアム(本館)の開館・休館日を表記しています。